

難関大古文



2 テキストの使い方について

この教材は、【要点編】・【問題編】の二部からなり、さらに【問題編】は《例題》と《演習》で構成する。

1 【要点】……全部の単元における必要な説明を一括して収録する。授業中の説明で参照したり、必要に応じて補足がなされたりする部分であり、また家庭学習に際して参考書としても機能すべくできている。

2 《例題》……【要点編】に示した説明を実践的に身につけてゆくための具体例となるべき、入試問題過去問またはオリジナル問題である。一日一題を配当し、読解方法や問題解法の要点を教授するための素材として用いる。

3 《演習》……主として家庭における自主学習用に資する問題である。《例題》の解説で示した解法により確実な定着のために用意したもののだが、場合によっては授業時に扱うこともある。

このほかに、教材の附属物として【解答・解説】がある。これは自主学習用の《演習》問題に対して、模範解答を提示し、自宅学習においても問題解決が図れるように、解法を説明するもので、毎回の授業時にプリント綴りの形で配布する。なお、このプリントには念のために《例題》の解答も収録するが、これはあくまでも「解答例」であり、授業においては各講師の解説を優先する。

なお、このテキスト【問題編】の各ページには脚部に余白が残してあるが、これは各講師が授業中に施すであろう教材への補足説明をメモするための欄として設けたものである。板書にせよ口頭説明にせよ、授業の内容をすべて書き込んでテキストとノートを兼ねさせようとするのは、学力伸長の上で得策ではない。別に各自ノートブックを用意して、本テキストと併用されることを勧める。

★ 受講に際しての注意

この講座では、基本的に《例題》の『予習』を必須とする（ただし初回の授業に限っては予習は不要である）。「本文の精密な読解」のため、予習段階においては、辞書・参考書を最大限活用して、周辺知識を確認しつつ、本文を全訳することが基本となる。授業は、予習で自分なりに確認した内容の理解をさらに深める場である。具体的な予習作業については、担当講師の指示に従ってほしい。

また、『復習』も必ず行ってほしい。（具体的には、《例題》の本文を、音読しながら、頭の中で品詞分解をしつつ、もう一度じっくりと解釈し直すのと同時に、問題を再び解き直し、講義で示された読解のポイント、解答にいたるプロセスを自分でもう一度説明できるようにしたい）。（《演習》も十分に利用したい。国語の学力は、単なる「読み直し・解き直し」にかけた時間に比例するわけではない。解法の意識的な確認による質の高い復習に比例するのである。

授業には、必ず古語辞典を携行して欲しい。新たに購入する場合は、以下の辞典を薦める。

- | | | |
|------------------|-------------------|-----------------|
| ・『全訳 古語辞典』（ベネッセ） | ・『全訳 古語例解辞典』（小学館） | ・『例解 古語辞典』（三省堂） |
| ・『全訳 古語辞典』（旺文社） | ・『古語辞典』（岩波書店） | |

授業の流れは、基本的に『講義・解説』の部分から成り立っている。『講義』は、その単元項目に対するガイダンス、インスタラクションなど、考え方や方針などを説明するものである。これをおさえた上で《例題》に関する実際的な指導を行うのが『解説』の部分である。ただし、クラスの状態や指導方針などによって、必ずしも一定のパターンを踏むものではない。

なお、講義で聞き逃したり、疑問に思った点、また、テキストおよび「解答・解説」などの不明点などは、講義担当者にきちんと問い合わせ解決しておくこと。それがすぐできるのが、「教室に通う」ことの良さである。

◆右に示した授業の進め方は、各クラスの実情に応じて変更されることがある。学習効果を高めるため、各講師による授業中の指示には充分に注意されたい。

目次

【要点編】

第1部 入試古文の一般的注意点

第1单元 入試古文への学習方針

- 入試問題の構成に即した対処方針 7
- 古文の読み進め方 13
- 現代語訳の手順の基本 15
- 語彙の整理に関する注意点 21

第2单元 読解の基礎となる文学史

- 文学史の知識の利用 23
- 物語の基礎知識 25
- 物語読解の観点 30
- 物語の種類 35
- 日記・随筆の基礎知識 38
- 日記・随筆の読解の観点 41
- 論書の基礎知識 47
- 論書の読解の観点 49
- 日記・随筆と論書の文学史的理解 52

第2部 文法・語法の重要事項

第3单元 用言

- 文法・語法の知識の必要性 64
- 用言の活用の実践的な理解のために 66

第4单元 付属語

- 助動詞の実践的な理解のために 71
- 助詞の分類の実践的な理解のために 84
- 個々の助詞の用法の注意点 88

第5单元 その他の重要事項

..... 105

○係り結びの注意点	105	○敬語表現の実践的理解	111	○活用語の特殊用法	120	○陳述の副詞	124
-----------	-----	-------------	-----	-----------	-----	--------	-----

第3部 和歌

第6单元 和歌の解釈における要点

○受験生として和歌に対するときのしかるべき態度	128	○和歌とはなにか	129	○和歌解釈の基本的手順	130
-------------------------	-----	----------	-----	-------------	-----

第4部 古典常識

第7单元 読解の基礎となる古典常識

○男女の交渉・結婚にまつわる通過儀礼	140	○信仰	141	○地名・地理	144	○暦法・時法	145		
○身分・官位	149	○女房・乳母	154	○住居・調度	156	○服飾	158	○主要年中行事	162
○季節の風物・鳥	166								

【付録】

.....	167
-------	-----

【問題編】

A ターム

《例題1》 『宇治拾遺物語』	筑波大学	178
《演習1》 『古今著聞集』	学習院大学	180
《例題2》 『平家物語』	立教大学	184
《演習2》 『十訓抄』	同志社女子大学	188
《例題3》 『紫式部日記』	国學院大学	194

《演習3》	『讀岐典侍日記』	百合女子大学	198
《例題4》	『無名抄』	中央大学	200
《演習4》	『春雨物語』	上智大学	204
《例題5》	『徒然草』	東洋大学・改題	208
《演習5》	『方丈記』	オリジナル問題	212
《例題6》	『栄花物語』	お茶の水女子大学	214
《演習6》	『増鏡』	上智大学	216
《例題7》	『枕草子』	同志社大学・改題	220
《演習7》	『水無瀬恋十五番歌合』	早稲田大学	224
《例題8》	『大鏡』	青山学院大学	228
《演習8》	『今鏡』	千葉大学	232
《例題9》	『源氏物語』	法政大学	234
《演習9》	『宇津保物語』	明治大学	240
《例題10》	『大和物語』	静岡大学	244
《演習10》	『伊勢物語』	日本文化大学	246
《例題11》	『蜻蛉日記』	立教大学	248
《演習11》	『源家長日記』	駒沢大学	252
《例題12》	『平中物語』	新潟大学	256
《演習12》	『伊勢集』	上智大学	258
《例題13》	『和泉式部日記』	日本女子大学	262
《演習13》	『住吉物語』	法政大学	264
参考問題	『玉勝間』	中央大学	268
参考問題	『源氏物語玉の小櫛』	学習院大学	270

《例題1》

L3B / 本I / A1

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

今は昔、大隅守なる人、国のまつりごとをしたため行ひ給ふあひだ、郡司のしどけなかりければ、「召しにやりていましめん」といひて、先々かやうにしどけなき事ありけるには、罪にまかせて重く軽くいましむる事ありければ、一度にあらず、たびたびしどけなき事あれば、重くいましめんとて召すなりけり。

「ここに召してゐて参りたり」と人の申しければ、先々するやうに、し伏せて、尻頭にのほりゐたる人、答を設けて、打つべき人設けて、先に人二人引き張りて出で来たるを見れば、頭は黒髪も混じらずいと白く、年老いたり。

見るに、ちやうぜん事いとほしく覚えければ、何事につけてかこれを許さんと思ふに、事つくべき事なし。あやまちどもを片はしより問ふに、ただ老いをかうけにていらへをる。いかにしてこれを許さんと思ひて、「おのれはいみじき盗人かな。歌は詠みてんや」といへば、「はかばかしからず候へども、詠み候ひなん」と申しければ、「さらば仕れ」といはれて、ほどもなく、わななき声にて打ち出す。

年を経て頭の雪は積もれどもしもとみるにぞ身は冷えにける

ノート

(注)

*大隅||現在の鹿児島県東部。

*答||刑罰用のむち。

5

*ちやうぜん事||打ちたたこうとする
こと。

*かうけにて||口実として。

10

といひければ、いみじうあはれがりて、感じて許しけり。

⁽⁴⁾人はいかにも情なさけはあるべし。

〔宇治拾遺物語〕

問1 傍線部(1)「しどけなかりければ」、(2)「みて参りたり」の意味として最もふさわしいものを、それぞれ次のア～オから選び記号で答えよ。

のア～オから選び記号で答えよ。

(1)

ア	強情であったので
イ	いいかげんであったので
ウ	生意気であったので
エ	おろかであったので
オ	頼りなかったので

(2)

ア	縛っておきました
イ	射殺してまいりました
ウ	閉じ込めておきました
エ	引き連れてまいりました
オ	座らせておきました

問2 傍線部(3)「はかばかしからず候へども、詠み候ひなん」を、言葉を補って現代語に訳せ。

問3 本文の歌に掛詞が用いられている。①その部分を抜き出し、②何と何が掛けられているか答えよ。

問4 傍線部(4)「人はいかにも情はあるべし」とあるが、作者は、人にはどのような「情」があるべきだと考えているのか、説明せよ。

〔解答の目安〕

問4 : 40字程度

《出典 筑波大学》

体験授業をご受講いただく皆さんへ

体験授業をお申し込みいただきありがとうございます。

Z会の教室の授業は、学力を効果的に上げていくためのカリキュラム・内容となっております。次回以降もぜひ継続して受講することをおすすめします。

《体験授業後の流れ》

お申し込み方法

引き続き継続して受講される場合は、各教室窓口・お電話でお申し込みが可能です。
※体験授業終了直後に窓口で申し込んでお帰りになることもできます。
※認定が必要な講座をご希望の方はテストを受験していただく場合があります。
※予習が必要な講座は次回までの予習がありますので、余裕を持ってお申し込みください。
※本科授業は、「クラス授業」「映像授業」が選べます。
※映像授業の体験も承ります。一部の講座では映像授業のご用意がありません。予めご了承ください。

通話料
無料

0120-2828-76

月曜日～土曜日 12:00～20:00
(休室日を除く)

各教室電話番号

御茶ノ水教室	03-5296-2828	池袋教室	03-5985-2828
渋谷教室	03-5774-2828	横浜教室	045-313-2828
新宿教室	03-5304-2828	葛西教室	03-5878-0844

お申し込みから1週間以内に手続書類（入会書類、お支払いについて、会員証など）をお送りします。

※受講料のお支払い期日が次回授業よりも後の場合でも、次回授業へのご参加が可能です。
※体験授業後にご受講いただく場合、「Z会の教室」では「月度」単位で受講料を請求させていただいているため、体験授業分も受講料をご請求する場合があります。くわしくは教室スタッフまでお問い合わせください。

お申し込み後、テキストを各教室窓口にてお受け取りください。

お申し込み後の流れ

※葛西教室にて高1・高2講座・受験講座、Z会進学教室大学受験部立川教室にて高1・高2・受験生講座を開講しております。

講座選択に迷ったら…

学習相談は随時承っています。お電話でのご相談も可能です。

受講に際して不明点、不安な点がある方は、各教室の窓口、または上記番号までお気軽にお問い合わせください。

Z会の教室の受講サポート — 万全のシステムで効果的な学習をサポートします —

1. 講師への質問

授業前後の時間や休み時間を利用して、担当講師に直接質問をすることができます。疑問点をそのままにすることなく、その場で解消することができます。

2. 振替受講

本科のクラス授業で欠席する回の授業を、同一週・同一講座の他のクラスで振替受講することができます。他教室への振替、映像授業（教室・自宅での受講）への振替も可能です。前日までに各教室窓口、お電話にてお申し出下さい。

※振替手続は一週前の月曜から可能です。

3. 進路・学習・入試相談

各教室の学習アドバイザーが皆さんのご相談を随時承っています。

4. 自習室

本科生の方は休室日を除いて、全教室の自習室をいつでもご利用いただけます。